

＜2019年度 鍼灸学科(夜間) シラバス＞

科目名	応用生物学	学年	3	単位数	4	コマ数	32
教科目標 細胞から生物体の構成と各部の働きと応用機能を学ぶ							
講 義 内 容	1	ガイダンス、基礎生物についての復習					
	2	生体を構成する物質、体液の組成①					
	3	生体を構成する物質、体液の組成②					
	4	細胞の膜構造と細胞小器官、細胞骨格①					
	5	細胞の膜構造と細胞小器官、細胞骨格②					
	6	代謝、エネルギー①					
	7	代謝、エネルギー②					
	8	遺伝情報の複製、遺伝子の発現①					
	9	遺伝情報の複製、遺伝子の発現②					
	10	シグナル伝達と細胞増殖①					
	11	シグナル伝達と細胞増殖②					
	12	シグナル伝達と細胞増殖③					
	13	シグナル伝達と細胞増殖④					
	14	細胞集団の組織化(発生と分化、受精など)①					
	15	細胞集団の組織化(発生と分化、受精など)②					
	16	前半のまとめ 試験					
	17	血液・循環器系について					
	18	呼吸について					
	19	消化と吸収、栄養と代謝について					
	20	体温について					
	21	排泄(腎臓の構造と働き)について					
	22	内分泌について①					
	23	内分泌について②					
	24	神経系について①					
	25	神経系について②					
	26	神経系について③					
	27	骨格筋の構造と働き、収縮の仕組み、神経支配、運動の調節①					
	28	骨格筋の構造と働き、収縮の仕組み、神経支配、運動の調節②					
	29	感覚について①					
	30	感覚について②					
	31	生体防御、ホメオスタシス					
	32	まとめ 終講時試験					

評価方法		
評価基準	新G P A 新評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。
教科書及び 参考図書	書籍名	著者名
	生理学 第3版	佐藤優子他
	よくわかる生理学の基本としくみ	當瀬規嗣
	生物	太田次郎
		発行所
		医歯薬出版株式会社
		秀和システム
		医歯薬出版株式会社

単位認定